学校番号	４１３

平成 31 年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ(数Ⅱβ)	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	数学Ⅱ　Advanced　（東京書籍）						
副教材等	PRIME　数学Ⅱ＋B　（東京書籍）、LEGEND　数学Ⅱ＋B（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・課題に対して、まず自分で考えることが大切ですが、周囲の人と意見交換してともに考え、人に説明をしたりすることも大切です。
・ノートは、授業用／問題集用／参考書用の 3 冊を用意してください。テストごとに提出してもらいますが、その日の授業で進んだところまで、その日のうちに解いて答え合わせをし、理解しておくのが基本です。解答はすぐに見ず、じっくりと考えることが大切です。また、答えに至るまでの経過が大切なので途中式は必ず書くようにして下さい。その後、自分で解答を見ても理解できない問題は、必ず友人や先生に聞き解決することが大切です。

2　学習の到達目標

複素数と方程式、三角関数、指数関数と対数関数についての基礎的な知識や技能を習得します。
また、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。さらに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	複素数と方程式、三角関数、指数関数・対数関数の考え方に**関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察**に活用しようとする。	**事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して**、複素数と方程式、三角関数、指数関数・対数関数における**数学的な見方や考え方を身に付けている。**	複素数と方程式、三角関数、指数関数・対数関数において、**事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている**	複素数と方程式、三角関数、指数関数・対数関数における**基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。**
評価方法	確認テスト プリント課題 ノート提出 観察等	定期テスト プリント課題 ノート提出 観察等	確認テスト プリント課題 ノート提出 定期テスト 観察等	確認テスト プリント課題 ノート提出 定期テスト 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期 中間	方程式・式と証明	複素数			○		a:方程式の解の性質を事象の考察に活用しようとしている b:方程式の解の性質について考察することができる。 c:基本的な複素数の演算及び方程式の解を求めることができる。 d:方程式の解の性質や活用方法を理解している。	確認テスト プリント課題 ノート提出 定期テスト 観察等
		2次方程式		○	○	○		
		高次方程式	○	○	○	○		
1学期 期末	三角関数	一般角と三角関数			○	○	a: 三角関数の考え方を事象の考察に活用しようとしている。 b: 三角関数の性質について考察することができる。 c:孤度法について理解し、三角関数のグラフをかくことができる。 d:三角関数の性質について理解している。	確認テスト プリント課題 ノート提出 定期テスト 観察等
		三角関数の性質	○	○	○	○		
		三角関数のグラフ	○	○	○	○		
2学期 中間	三角関数	三角関数の応用	○	○	○		a: 三角関数の考え方を事象の考察に活用しようとしている。 b: 三角関数の性質について考察することができる。 c:三角方程式・不等式の解を求められる。 d:加方定理の公式について理解している。	確認テスト プリント課題 ノート提出 定期テスト 観察等
		加法定理	○	○	○	○		
		加法定理の応用 三角関数の合成	○	○	○	○		
2学期 期末	指数関数	指数法則、指数の拡張			○	○	a:指数の性質を事象の考察に活用しようとしている。 b: 指数の性質およびそのグラフについて考察することがで	確認テスト プリント課題 ノート提出 定期テスト

		指数関数とそのグラフ	○	○	○	○	きる。 c:基本的な指数法則の演算ができる。 d: 指数法則、指数関数の性質を理解している。	観察等
		指数関数を含む方程式･不等式	○		○	○		
3学期	対数関数	対数とその性質		○		○	a:対数の性質を事象の考察に活用しようとしている。 b: 対数の性質およびそのグラフについて考察することができる。 c:対数関数の方程式、不等式を解くことができる。 d: 対数の性質およびそのグラフについて理解している。	確認テスト プリント課題 ノート提出 定期テスト 観察等
		対数関数とそのグラフ		○	○	○		
		常用対数	○		○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能　　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。